

GP決まらずに閉幕

夕張学生映画祭 荒天、審査員「早退」

夕張市で開かれていた「夕張国際学生映画祭2008」は最終日の24日、一部の審査員が悪天候で新千歳空港着便が乱れたことから早めに引き揚げ、予定されていた国際学生映画アワードの審査ができず、同部門のグランプリが決まらないまま閉幕した。審査会は後日東京で開催し、3月10日に結果発表するという。同日は日本ブラジル、アメリカ、中国の4カ国7作品の国際学生部門の映画が上映されたが、5人の審査員のうち俳優・監督の小沢仁志さんら2人が同日中の航空便確保のため夕張を出発し、審査が開けなくなった。この日は、地元の市立緑陽中3年佐々木亮介さん監督作品「メロンの頃」や夕張高1年の小林和希さん監督作品「エコ・ミュージーアム・ゆうばり」2008冬」が上映されたほか、国内学生映画アワードで小栗はるひ監督の「少年少女」がグランプリを受賞した。